

国際交流・社会貢献等の概要

●国際交流活動の推進

○海外プログラム

大学における国際交流活動の推進に向けては、国際ビジネス学科を設置して以来様々な取り組みを実践してきた。その1つに授業科目として「グローバルコミュニケーション」を新たに設け、国際社会に対応できる人材の育成を図っている。これは本学が提供する海外プログラム（国際交流プログラム、海外研修、スポーツマネジメント研修等）や個人的な観光旅行で外国に渡航した際、臆することなく英語でコミュニケーションを取れる能力を養い、そして将来的に仕事で英語を使用することに対する希望と自信を持ってもらうことを目指す講義となっている。単なる語学学習ではなく、国際的な感覚、視野の広がり身を付けてもらい、実践として海外研修等への参加意識も高めている。そのため新たに規程も整備し、一定要件のもと海外研修の参加費補助制度も設けた。この授業は伊勢崎キャンパス、高崎キャンパスの両キャンパスで開講されており、受講する学生たちも定着している。コロナ禍では海外渡航研修は中断し、代替として、遠隔で行われる語学研修プログラムを安価で参加希望者に提供していたが、コロナ禍以降アメリカ、フランス、オーストラリアへの渡航研修を再開している。令和7年8月に実施された米国語学研修では、世界各国からの学生とともに、英語のレベル別に午前中はリスニングとスピーキング、午後はリーディングとライティングを学習し、実践的なコミュニケーションスキルを学んだ。研修の合間には、メジャーリーグベースボールの公式戦を観戦し、プロスポーツならではの試合運営の質を体感するなど、大学やスポーツビジネスの最前線を体験した研修となった。

○スポーツにおける留学生受け入れ

さらにはここ数年スポーツにおいても海外からの留学生を積極的に受け入れている。人数はそれほど多くないものの、アジア圏以外にも留学生が定期的に留学している。競技ではバスケットボール、サッカーが主であり、継続的に留学生を迎えている。こうしたスポーツを通しての定期的な留学生の受け入れにより、海外関係機関との連携協定締結なども期待できる。

●大学間連携

従来から本学を含む群馬県内5大学（高崎商科大学、関東学園大学、共愛学園前橋国際大学、高崎健康福祉大学）による合同の企業研究会を開催していたが、ここでの大学間交流を基にして、より強固な連携協力関係を結ぶべく、平成27年度から6大学と株式会社スパンによる学生の就職支援を共同で行っていくための協定を締結している。これにより各大学での就職情報等を共有でき、人事交流なども盛んに行われることになり、学生たちが効率的な就職活動を行うため、様々な形で支援できるよう対応が図られている。今年度は20

社の企業が参加した 27 卒合同会社説明会が、7 月 11 日に高崎商科大学で開催され、後援を大学として行った。

●産学官連携

○包括連携協定等の締結

上武大学では平成 26 年度から、地域社会の発展と人材育成への寄与を目的として、教育、文化、福祉、健康、地域産業、国際交流などの分野において連携、協力するための協定を群馬県内各自治体と結んだ。まず平成 27 年 2 月に伊勢崎市との協定を取りまとめ、続いて玉村町、富岡市、渋川市、藤岡市の大学近隣 5 市町村との包括協定を順次結んでいる。協定締結以前から協力関係にあった上武大学と近隣市町村であるが、これにより様々な分野で一層の協力・連携関係が築かれることになっている。具体的には各市町村やその教育委員会が主宰して開催する市民・町民向けのスポーツイベントの運営補助や競技補助業務や、各市町村が運営する施設で玉村町陸上教室などの文化事業の開催などがある。なお高崎市とは部分的協定ではあるが、災害時における施設利用に関する協定を取り交わし、高崎キャンパスのある新町地区の防災に関して、高崎市と連携しながらその対応策の検討を行うこととなっている。

○文部科学省主催「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」への参画

標記補助事業には群馬県も積極的に関わり、県が主導する形で群馬県への就業率向上を目的として、共愛学園前橋国際大学が核となり、本学と高崎商科大学、明治学院大学が協力する参加校として連携し、平成 27 年度補助事業の採択を受けた。ここには群馬県をはじめとして、高崎市、前橋市、伊勢崎市、富岡市の自治体も加わり取り組みを推進している。大学卒業後の群馬県内への就業率上昇を目標に掲げ、大学、自治体そして県内の企業も積極的に協力していく体制が整い、本学をはじめとする各大学も協力して具体的な取り組みを検討・推進している。

○群馬地域大学連携協議会への参画による地域貢献

群馬県が主体となり、県内の自治体が抱える問題・課題解決に大学が積極的に加わり、ともに地域貢献事業を実践していくための組織。本学もこの協議会に参画しており、その中で渋川市の案件として、総合型スポーツクラブの運営協力や、スポーツイベントなどの競技補助などの業務において協力している。

○税理士法人本島事務所と包括連携協定を締結

令和7年12月5日、本学と税理士法人本島事務所は、教育・人材育成・学術研究・地域社会におけるスポーツ振興と競技力向上を図るため包括連携協定を結んだ。本協定に基づき、税理士養成クラスをはじめとする税理士育成に係る教育及び人材育成の充実を図るため、相互に連携・協力する。これにより、群馬県内における税理士人材の育成及び税理士業界において活躍する人材の輩出を推進する。

○群馬クレインサンダーズとの包括連携協定を締結

令和7年4月30日、本学と群馬クレインサンダーズを運営する群馬プロバスケットボールコミッションは、バスケットボールを通しての教育・人材育成、学術研究、地域貢献の推進を図るための包括連携協定を結んだ。具体的には、主に小学生を対象としたバスケットボールスクールやバスケットボール体験を実施する予定である。研究分野では、選手のサポートやコーチング技術を向上させる学術的な手法を想定している。本学バスケットボール部の強化のみならず、バスケットボールスクールを通して群馬県内でより良い人材を育成し、県内のスポーツ界を活性化することを目指している。

○高大連携の推進

群馬県内の高等学校のうち、吉井高校、高崎東高校、榛名高校、桐生商業高校、高崎高等特別支援学校の4校とは高大連携協定を締結している。内容として高等学校におけるカリキュラム支援や、テーマ学習の共同研究・発表、共同のボランティア活動、キャリア教育支援、などである。また、本学では税理士教育に特化しており、教育内容を理解していただくために一部の商業高校とも連携を結んでいる他、令和7年8月26日に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の認定を受けたため、今後は工業高校との連携も視野に入れている。

●社会貢献活動と地域連携

○本学高崎キャンパスがある高崎市新町において、地元の商店連盟・商工会議所と協定を締結し、新町地区の活性化のために、学生達も協力しながら様々な活動を行っている。具体的には新町祭り及び新町商工祭への企画参画と運営補助、などがありその他にも学生たちはいろいろなボランティア活動により、町の運営に協力している。また富岡製糸場と同様の歴史的価値のある建造物、新町紡績所の世界遺産追加登録に向けて、「よみがえれ！新町紡績所の会」とも包括協定を締結し、大学と町を挙げて、文化的活動を推進している。なおこうした学生たちの積極的なボランティア活動を大学としても評価しており、「社会貢献実践」という新たな授業科目を導入し、学生のボランティア活動に対して単位も付与している。これらを取りまとめる組織として、大学にはボランティアセンターも設置している。例年行

われる活動として、冬季に高崎キャンパスの側を流れる烏川に飛来する白鳥保護を目的とした河川敷の清掃活動に「社会貢献実践」受講者とボランティアサークルの学生が参加し、環境保全に努めている。

新町商工会議所との連携では、例年夏に開催される新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」ではボランティアサークルの学生が、会場の警備・誘導を行い、多くの人で賑わった祭りを裏方として支えている。

○救急救命士コースの活動

ビジネス情報学部・スポーツ健康マネジメント学科・救急救命士コースの活動拠点である救急救命センターには実際の救護活動に利用される様々な機械器具や設備があり、救急車も配備されている。現時点では学生たちだけで救護活動などを展開することは難しいが、救急救命士の資格を持った教員が常日頃指導を行うことで、補助活動等は実践できるようになっている。令和 7 年度は伊勢崎シティマラソンの走路補助員等として、大会運営に関わり、ランナーの救護や運営補助として、大会の安全・安心に大きく貢献している。

○スポーツトレーナー活動

本学の柔道整復師コースの学生達で構成されているスポーツトレーナー部は、大学との協定を締結している自治体が企画・運営するスポーツ事業に積極的に参画しており、学びを実践できる場としても機能させている。具体的には以下に挙げる競技会等において、独自のブースを設置し、参加者たちの競技前後の身体的ケアを行っている。令和 7 年 11 月 3 日に前橋市で行われた第 35 回ぐんまマラソンでは学生 21 名と引率教員 3 名がアスリートのためのケアブースを設営した。スタート前の選手にはストレッチやテーピング、ゴール後の選手にはマッサージやアイシングなどのケアを実施した。約 400 名の利用があり、本学学生達の活動に対して、選手及びスタッフから好評をいただいた。その他、「第 13 回榛名湖マラソン」、「第 21 回伊勢崎シティマラソン」、「第 45 回群馬サファリ富岡マラソン」、「第 35 回はるな梅マラソン」等の群馬県内のスポーツイベントにケアブースを出展し、身体的ケアや負傷者に対する救護活動を行った。

○授業等を通じたボランティア活動

・新町花水木まつりボランティア

令和 7 年 4 月 26 日

学生 4 名が参加

会場設営、出し物の運営（メダカすくいと抽選会）、撤去作業、清掃作業を行った。

・新町七夕まつり

令和7年7月3日、5日、6日

学生11名が参加

七夕飾りの設置・撤去作業、縁日コーナーにて出店（メダカすくい、ヨーヨーつり、かき氷の販売及び販売支援）を行った。

・オトナヨミセ

令和7年7月5日

学生11名が参加

飲み物販売、射的コーナーなど商工会青年部の企画支援、撤去作業を行う。

・新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」

令和7年8月16日

学生4名が参加

かがり火台、ぼんぼり、交通整理用看板の設置、駐車禁止のためのコーン等の設置。花火大会中は駐車場周辺の交通整理、誘導、駐車場案内を行い、終了後は標識やコーンの撤去作業を行った。

・高崎まつり

令和7年8月23日、24日

学生4名が参加

2日間にわたり開催されたまつりでは、リサイクルステーションの管理・運営、まつりエリア内の巡回清掃を行った。

・SHINMACHI FESTA2025

令和7年10月5日

学生6名が参加

準備・運営・片付けの支援、各ブースの支援（物品販売、受付等）、会場内のゴミ拾い・ゴミ袋交換

- ・ たかさきハロウィン

令和 7 年 10 月 11 日

学生 8 名が参加

ビラ配布、各種イベントの運営

- ・ しんまち商工祭

令和 7 年 11 月 2 日

学生 18 名が参加

イベント会場設営、機材運搬、会場整備、撤収作業等を行った。

- ・ 白鳥見守り隊への参加

令和 7 年 12 月 22 日

令和 8 年 1 月 25 日

学生 9 名が参加

高崎キャンパスのほど近くを流れる烏川河川敷および上武大学周辺において、飛来した白鳥の保護を目的にゴミ拾いを行った。河川敷のゴミは流れてきたもの、人が捨てたと思われるペットボトル、空き缶、缶ゴミなどかなりの量が見られた。飛来した白鳥も観察できた。

- ・ 高崎市立新町中学校

令和 7 年 6 月～令和 8 年 1 月

学生 2 名が参加

高崎市立新町中学校にて、中学生（1 年生～3 年生）に対して数学及び英語の学習支援を行った。放課後に設けられた時間（15 時 15 分から 16 時 15 分）において、小学校の復習及び中学校で既に学習済みの内容を中心に基礎的な問題を生徒自身のペースで取り組むための支援及び補助を行った。